

2015年開院
日本最大規模の240床回復期リハビリテーション病院

充実した新人教育体制
職場環境と雰囲気
リハ科の特徴

医療法人社団 巨樹の会

五反田リハビリテーション病院

GOTANDA Rehabilitation Hospital



充実した新人教育体制

特徴1 新人教育の期間は入職後2年間

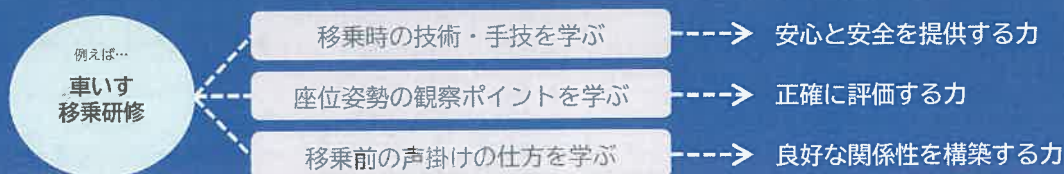
入職直後の短期間に詰め込む研修ではなく「ゆとり」を実感できる長期的な教育期間を設けております。当院では入職後に約2か月の集中的な研修期間がありますが研修は1日2コマ(2時間)にしており研修以外の時間は病棟でリハビリの見学や体験を通してレベルアップを図ります。集中的な研修期間を終えた後は約2か月に1回の頻度で定期研修が開催されます。



特徴2 新人教育で9つの能力がバランスよく身に着く

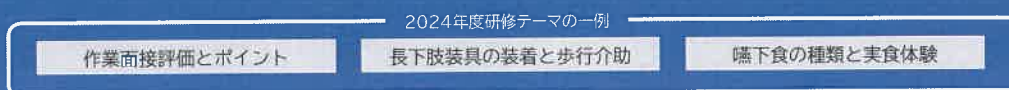
- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| ①仕事を正確にこなす力 | ④良好な関係性を構築する力 | ⑦論理的に考える力 |
| ②安心と安全を提供する力 | ⑤人に教える人を育てる力 | ⑧正確に評価する力 |
| ③退院後を見据える力 | ⑥建設的に考え行動する力 | ⑨考えを簡潔に伝える力 |

バリエーション豊富な研修を実施していますがすべての研修はこの9つの能力の習得に紐づいています。



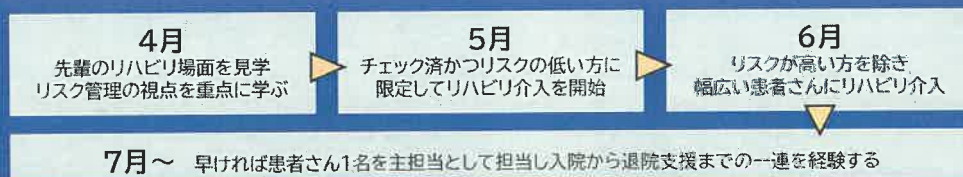
特徴3 研修は実技やディスカッション中心のアクティブラーニング

座学研修よりも学習定着効果が高いアクティブラーニングを積極的に導入しています。どんな研修も「体験してみる」「自分の考えを伝える」ことが組み込まれているので、単に講義を聴くだけの研修ではありません。研修には多くの先輩スタッフがサポートとして参加するので経験年数や職種の垣根を越えた職員同士の交流が図れます。



特徴4 スムーズな独り立ちをサポートする仕組み

入職後3か月をめどに自分ひとりでリハビリメニューを考え患者さんに提供し記録に残す一連の仕事ができる状態を目指します。この一連の仕事ができるようになる「独り立ち」までがスムーズに進むための仕組みが整っています。



当院の新人教育に本気の理由

私たちは日本最大級のリハビリスタッフが在籍するカマチグループに属しています。グループの他病院はどれも魅力や強みとなる特徴を持っています。当院は2015年に開院しましたが2020年から始まったCOVID-19への対応に奔走する中で人材育成の重要性を痛感しました。単に知識を高め技術を習得するだけの教育では対応できないことが多く、職員が状況に応じて自分自身で考えて判断して行動できる「主体性」や「当事者意識」をもつことが重要であることに気づきました。さらに、それらの教育はできるだけ早い段階で新人のころから徹底して教育することが人材育成と組織力強化の礎になると確信しました。当院ではスタッフを組織の財産として考え総合的な人材育成の観点から幅広く9つの力が身に付くように支援します。今ではグループの他病院に負けない新人教育体制になっていると自信をもってアピールできます。

新人教育担当者より

五反田リハの環境や雰囲気

明るくて広くて綺麗な2階リハビリ室

当院は地下1階～10階、屋上提案を備えた病院です。
2015年に既存のビルをフルリノベーションして開院しました。
特に2階フロアは全面リハビリ室になっており、PT室、OT室、ST室が1フロアに集結しています。リハ室は「明るい」「広い」「綺麗」の3拍子が揃っており、賑わいがありながらも窮屈さを感じない環境です。
さらに各病棟にも平行棒を設置しており、どこでもリハビリを提供できる環境は充実しています。
2階は音響設備にもこだわっており日中は活気を感じられる音楽を流しています。
150名を超える講演会なども開催可能で後方でも声が届きやすいように天井に良質なスピーカーを設置している点もポイントです。

五反田リハ	
10階	病棟22床
9階	病棟38床
8階	病棟22床
7階	病棟38床
6階	病棟22床
5階	病棟38床
4階	病棟22床
3階	病棟38床
2階	リハビリ室
1階	受付・職員食堂
地下1階	職員更衣室



より良いものには積極的にチャレンジする精神

患者さんやリハビリテーション科にとってより良くなるためのものであれば惜しまずトライする姿勢を大切にしています。難渋する疾患にどう対応するかを検討するチームの立ち上げや最新機器の導入、業務がよりスマートになるための仕組み作りなどには、労力やコストを惜しまずに挑戦しています。前向きな挑戦がリハ科のポジティブな職場雰囲気を作っています。



手指のリハビリロボット機器の試験導入



アプローチを検討するミーティング

大規模な実習生や職場見学者の受け入れ

当院では年間約80名の実習生（PT、OT、ST合わせて）の受け入れと約100名の職場見学の対応をしております。病院の雰囲気を多くの方に知ってもらいたく、実習生や職場見学者を広く受け入れております。リハ科人事担当の職員から実習生や見学者にも積極的に声掛けを行い意見を聴取することで、実習生や見学者にとってもより良い環境を整備できるように工夫をしております。実例として2022年には実習生が広々と記録物を作成できるスペースを確保できるようにスタッフルームの拡張を図りました。

五反田リハの特徴

本格的な就労支援

入院される患者さんの多くは病前の生活に復帰することを目標に設定しています。病前と同様の生活への復帰は単に日常生活の自立や自宅への退院だけではありません。日常生活の自立と同時に、社会への復帰すなわち「病前と同様に働く」ことを目標にする患者さんも少なくありません。この病気や障害の克服と社会生活への復帰の両方を支援する考えが両立支援です。
当院では入院期間2週間という超短期から5か月以上の長期まで個性の高い就労支援を提供しています。
就労支援は医師や看護師、ソーシャルワーカーとともにチームで支援しています。

240名の多彩なキャリア

当院には240名を超えるリハビリスタッフが生籍しています。スタッフ数の多さはその分キャリアデザインの多さでもあります。

- ◆働きながら大学院に進学しているスタッフ
- ◆子育てと仕事をバランスよく両立しているスタッフ
- ◆品川区から依頼をうけて保健福祉の仕事も担っているスタッフ

言い換えればキャリアは「人生をどう生きるか」です。240名の先輩スタッフそれぞれにキャリアデザインがあります。「何をどう頑張れがいいかわからない」という若手にとって多くのお手本があることは心強いことです。当院は240名の多くが20代後半です。男女比も半々のバランスのよい組織編成になっています。

A map of Gifu City showing the location of the Gifu Rehabilitation Hospital (五反田リハビリテーション病院). The map includes major roads like the Tohoku Expressway (東海自動車道) and the Gifu Expressway (岐阜自動車道). Key locations marked include Gifu Station (大府駅), Gifu University (岐阜大学), Gifu University Hospital (岐阜大学病院), and the hospital itself. A red line indicates the route from the station to the hospital.

A street view of a city in Japan, showing modern buildings, a road with a guardrail, and trees. The image is a wide-angle shot of a city street. On the left, there are several tall, modern buildings with many windows. A white guardrail runs along the edge of the road. In the center, there's a road with a dashed white line. On the right, there are more buildings and some trees. The sky is blue with some clouds.

品川区	大田区	川崎市川崎区
9.5万円	8.5万円	7.1万円

1位	杉並	2位	世田谷	3位	練馬	4位	文京	5位	目黒
6位	板橋	7位	大田	8位	品川	9位	北	10位	中野

リハ科専用サイト

